

令和5年度

事業報告及び決算報告

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日

公益財団法人 愛知県国際交流協会

目 次

事業報告	1
決算報告	1 3

事業報告

(公財) 愛知県国際交流協会は、国際交流を通じて県民の国際的視野を広め、本県の国際的地位の向上に供するため、県、市町村、市町国際交流協会、民間国際交流団体及び関係機関と一体となって国際交流・国際協力活動や、外国人も地域社会で安心して暮らせる多文化共生の地域づくりの推進に努めた。

事業の実施にあたっては、国際交流団体交流室、研修室、アイリスルーム、図書コーナー、新聞・雑誌コーナーなどの施設を有する「あいち国際プラザ」を有効に活用し、県民参加型の国際交流の推進を図るとともに、あいち多文化共生センターにおいて多文化ソーシャルワーカーによる多言語での相談対応や情報提供を実施した。

1 国際交流・国際協力活動の推進

(1) 講座等の開催

フェアトレードの普及啓発事業の実施

国際協力活動の一つであるフェアトレードを通じて、県民が途上国の貧困や人権・環境問題など地球の課題や解決方法を知り、考え、国際協力活動へのきっかけづくりとなる講座を開催した。

開催予定日	内 容	講師	参加者数
令和5年7月8日	「カスカラティール」ってなに？ ～国内初のフェアトレード大学 が作るカスカラティール～	静岡文化芸術大学 准教授 武田淳氏 ほか	大学生 19名

(2) 国際交流イベントの開催

国際交流・国際協力・多文化共生・SDGsに関する県民意識の高揚を図るため、(独) 国際協力機構中部センター及びなごや国際交流団体協議会と協働して、国際交流イベント「ワールド・コラボ・フェスタ2023」を開催した。

開催期間	内 容	出展・ 出演団体	来場者数
令和5年 10月14日 ・15日	<ワールドステージ> 地球規模の課題や多文化共生等をテーマにした トークイベント、世界各国の歌や踊り等を披露 <コラボ広場> 国際交流・国際協力・多文化共生等に携わる団 体の活動を展示やワークショップ等をとおして 紹介	61団体	約56,000名

※出展・出演団体にはワールド・コラボ・フェスタ主催団体及び主催企画
 (オープニングステージや特別企画枠など) を含まない。

(3) 国際交流推進功労者の表彰

国際交流や多文化共生の地域づくりの推進に顕著な功績のある個人・団体を表彰した。

開催日	表彰の種類	被表彰者数
令和5年11月8日	会長表彰	2名 6団体

(4) ボランティア登録制度の運営

県民参加による国際交流等を推進するため、ボランティアの募集・登録を行い、積極的活用を図った。

【ボランティア登録者数】

(令和6年3月31日現在)

ボランティアの区分	登録者数(延べ)
語学ボランティア (18言語)	173名
ホームステイ・ホームビジットボランティア	26名
サポートボランティア	89名
合計 (延べ)	288名

【ボランティアの活動】

区 分	内 容	活動者数(延べ)
語学(通訳)	2023日台観光サミットin愛知 始め4件	15名
サポ ー ト	あいち国際プラザ日本語教室 始め3件	1,698名

(5) ブラジル・アルゼンチン愛知県人会との連携・支援

海外移住先国のブラジル・アルゼンチン愛知県人会を通じて、移住者への相談対応を行うとともに、日本にいる移住者の家族に対して情報提供を行った。

(6) 国際貢献支援事業の実施

県内における国際協力を推進するため、国際的に緊急かつ深刻な貧困、災害等の諸問題を抱えた地域を対象に、必要に応じて見舞金、緊急物資などの供与する事業を実施するものであるが、令和5年度は対象となる事業がなかったため、活動実績はなかった。

(7) 民間国際交流団体等の活動支援及び国際交流・国際協力活動の支援事業の実施

草の根の国際交流活動の活性化を図るため、県内の国際交流・国際協力活動、多文化共生の地域づくりを行う民間国際交流団体等の事業に対し補助金の交付や後援を行うほか、民間国際交流団体等が行う各種行事の打ち合わせ、準備作業及び団体内の情報交換等の活動場所として、国際交流団体交流室を提供した。

また、この地域で国際交流活動を行う団体や外国公館等と共催で、講座やパネル展等を開催することにより、地域の国際交流、国際理解の推進を図った。

そのほか、地域や時代のニーズに合わせた様々な国際交流・協力事業の実施を支援し、若者等が国際交流への関心を持つきっかけとするため、あいち国際プラザの施設内やウェブページなどで民間国際交流団体等の活動紹介をするとともに、インターンシップや施設見学などを積極的に受け入れ、地域の国際交流の現状などの情報を提供した。

【後援事業及び補助事業】

区分	内 容
後援事業	第5回ハンガリー刺繍サークル作品展 始め10件
補助事業	ウクライナのイースター祭り「パスハー」を通じた異文化理解を促進する文化交流事業 始め17件

【民間国際交流団体等との共催】

共催団体	内 容
日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第2病院国際医療救援部 始め6団体	パネル展「国際医療救援活動の紹介」 始め8事業

2 多文化共生の地域づくりの推進

(1) 講座等の開催

県民の多文化共生社会づくりへの理解促進

外国人と触れ合う機会の少ない地域の日本人が楽しく異文化を知ることにより、地域に住む外国人に親近感を持ち、理解を広げることにより多文化共生の地域づくりの推進を図る企画をワールド・コラボ・フェスタ2023の当協会自主企画事業として実施した。

開催日	内 容
令和5年 10月14日 ・15日	<p><ステージ> 見て、聴いて、感じて、オリエンタルなトルコの世界～トルコ共和国の伝統的な踊りと音楽に触れてトルコの世界を感じよう～ 協力：京都大学民族舞踊研究会有志</p> <p><ブース> メルハバ！ようこそトルコへ！ トルコの地理・歴史・産業・文化等を紹介する展示及びミニ講座とトルコの手工芸のワークショップ 協力：在名古屋トルコ共和国総領事館、やかもずキッチン 坂本理恵子氏</p>

(2) 災害時のための体制づくり事業の実施

災害時に、外国人被災者を直接支援する県内市町村に対し、情報提供や通訳・翻訳などの言語面での支援をするために愛知県が設置し、県と協会が共同で運営する「愛知県災害多言語支援センター」について、県と共同で訓練を実施した。

また、災害発生時には、当協会のあいち多文化共生センターを始め外国人相談窓口に対する相談が集中することが予想されることから、当協会の職員と、相談対応や災害時のセンター運営等に協力していただくボランティアの合同の研修及び訓練を実施した。

開催日	内 容	参加者数
令和6年1月13日	<p><研修> 「職員と語学ボランティアで運営する！ ～災害時の外国人相談窓口～」 講師：一般社団法人多文化社会専門職機構 事務局長 菊池哲佳氏</p> <p><訓練> 災害時の相談窓口での相談対応を想定したシミュレーション訓練</p>	16名

(3) 多文化ソーシャルワーカーによる相談・情報提供及び支援の充実

外国人が日本人と同じ制度やサービスを利用でき、本県で安心して暮らすことができるよう、多文化ソーシャルワーカーが日常生活に必要な情報を多言語で提供するとともに、複雑な問題を抱える相談者に対しては、関係する市町村の各種窓口や専門機関と連携しながら、問題解決に向けた自立支援までを継続的に行った。

なお、相談は、日本語、ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語、フィリピン語／タガログ語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語、タイ語、韓国語、ミャンマー語、ロシア語、ウクライナ語の14言語で対応した。

また、専門的なアドバイスが必要な問題を抱える外国人を対象に、無料の弁護士相談（ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語、フィリピン語／タガログ語、ベトナム語に対応）を実施するとともに、名古屋出入国在留管理局や愛知労働局、愛知県との連携により在留関係、労働関係、消費生活関係の専門相談（上記14言語で対応）を実施した。

【相談・情報提供等】

（単位：件）

相談言語	多文化ソーシャルワーカーによる 相談・情報提供及び支援					弁護士 相談	在留 相談	労働 相談	消費 生活 相談	合計
	情報 提供	継続 支援	傾聴	翻訳 通訳	小計					
日本語	2,097	0	4		2,101	11	8	0	0	2,120
ポルトガル語	443	3	0	55	501	17	0	1	3	522
スペイン語	167	0	0	23	190	14	2	2	2	210
英語	211	1	0	29	241	11	6	0	1	259
中国語	65	1	0	23	89	9	0	0	0	98
フィリピン語/タガログ語	57	1	0	11	69	5	2	0	2	78
ベトナム語	73	0	0	12	85	9	1	0	0	95
ネパール語	5	0	0	3	8		0	0	0	8
インドネシア語	7	0	0	5	12		1	0	0	13
タイ語	13	0	0	6	19		0	0	0	19
韓国語	2	0	0	5	7		0	0	0	7
ミャンマー語	2	0	0	1	3		0	0	0	3
ロシア語	7	1	0	0	8		0	0	0	8
ウクライナ語	42	2	0	4	48		1	0	0	49
合計	3,191	9	4	177	3,381	76	21	3	8	3,489

さらに、日頃から外国人に対する相談・情報提供及び支援活動に関わる相談担当者の資質向上を図るとともに、情報交換とネットワーク作りの場を提供し、県内各地域において有益な外国人向け相談業務が行われるようにするため、外国人相談窓口及び各種専門機関等の相談員向け研修会を2回開催した。

開催日	内 容	参加者数
令和5年 9月9日	第1回 通訳者と支援者のためのコミュニティ通訳講座 講演 「コミュニティ通訳の基礎」 「自己紹介・振り返りワークショップ」 講師：前(公財)兵庫県国際交流協会 村松紀子氏 ファシリテーター：外国人ヘルプライン東海 後藤美樹氏	32名
令和5年 12月12日	第2回 通訳者と支援者のためのコミュニティ通訳講座 講演 「DV被害者の支援制度、相談窓口について」 講師：愛知県福祉局福祉部地域福祉課 生活困窮者支援グループ 南 太郎氏 講演 「外国人DV被害の実態とNPOによる支援」 講師：そうみー移民女性自立の会 杉戸ひろ子氏	24名

(4) 外国人相談担当者向け対応ハンドブックの作成

外国人がより充実した行政サービスを受けることができるようにするため、当協会に寄せられた相談事例等をもとに、外国人特有の問題やその背景となる各国事情、相談対応のポイント等をまとめた冊子「相談員のための多文化ハンドブック＝結婚・離婚編＝」を1,500部作成し、県及び市区町村の国際交流担当課や福祉相談窓口、保健センター、社会福祉協議会、市町国際交流協会等に配布した。

(5) 日本語学習の支援

ア プラザにほん語教室の開催

日本語ボランティア入門講座修了生の実地研修の場として、日本語教室を開催し、外国人の日本語学習支援を行った。

開催期間	曜日及び時間	ボランティア数	学習者数
第1期 4～7月	火曜日13:30～15:00 金曜日13:30～15:00、19:00～20:30 土曜日10:30～12:00、14:00～15:30	49名	90名
第2期 9～12月			94名
第3期 1～3月			92名

イ 先進的な日本語教育の取組等による日本語教室への支援

県内の日本語教室の活動を調査し、一覧表を作成するとともに、ウェブサイトの検索ページに掲載した。また、特徴ある取組や教え方を行う日本語教室を訪問し、その活動をウェブサイトで公開した。

ウ 日本語学習支援基金事業の実施

企業・個人からの寄付金及び愛知県からの出せん金により造成された「日本語学習支援基金」を活用し、外国人児童生徒の日本語学習を推進する事業を実施した。

① 外国人児童生徒向け日本語教室への支援

外国人児童生徒の日本語学習環境の充実を図るため、地域のNPOなどが実施する外国人児童生徒のための日本語教室に対し、教室運営に必要な経費の一部を助成した。

事業名	実績
日本語教室学習支援事業	認定：37団体 57教室 延べ学習者数：36,793名

また、日本語教室学習支援事業で助成認定を受けた日本語教室において、外国人児童生徒を対象とした、社会的自立に向けたキャリア支援の事業実施に掛かる経費の一部を助成した。

事業名	実績
キャリア支援助成事業	対象：4団体 助成回数：7回

② 外国人学校での日本語指導への支援

外国人学校の外国人児童生徒に質の高い日本語学習環境を提供するため、外国人児童生徒の日本語学習に必要な日本語学習教材を整備するための費用の一部及び日本語指導者の雇用に必要な経費の一部を助成した。

事業名	実績
日本語指導者雇用助成事業	日本語指導者雇用に係る助成：4校
日本語学習教材給付事業	対象：2校 給付教材数：37冊

3 国際化の推進役となる人材の育成

(1) 講座等の開催

ア 国際交流・多文化共生コーディネーター講座の開催

市町村・市町国際交流協会等の職員を対象に、地域の国際交流、国際協力活動を推進し、多文化共生社会実現の担い手となる人材育成を目的として日常業務のスキルアップを図るための講座を対面とオンラインで同時に開催した。

開催日	内 容	講師	参加者数
令和5年12月15日	「入管法」って どう変わったの？	名古屋出入国在留管理局 上席入国審査官 鹿毛彩乃氏 法務事務官 長谷川未倫氏	54名

イ ボランティア研修の実施

当協会及び市町村・市町国際交流協会のボランティア等に対して、ボランティア活動に役立つように、世界の国々のイスラム文化の違いや、県内のイスラム教徒の生活習慣や困っていることなどを学ぶ講座を開催した。

開催日	内 容	講師	参加者数
令和6年2月16日	イスラム文化講座	鈴鹿大学国際地域学部 アジアコース 助教 竹野富之氏	17名

ウ 通訳翻訳講座の開催

ネパール文化に興味を持ち、ネパール語習得の意欲を有する方を対象に講座を開催した。

開催日	内 容	講師	参加者数
令和5年 11月22日	ネパールを知り、ネパール語 に触れてみよう！	Women for women Nepal 代表 トウラダール・アスタ氏	31名

エ やさしい日本語講座の開催

愛知県内の自治体及び公共団体の職員等を対象に、業務で外国人と接する際に必要な情報をやさしい日本語でわかりやすく伝えるスキルを学ぶ講座を、オンラインと対面で開催した。

開催日	内 容	講師	参加者数
令和5年 12月20日	基礎編（オンライン）： やさしい日本語の背景、なぜ 行政が取り組むべきか ほか	一般財団法人自治体国際化協会 地域国際化推進アドバイザー 崔英善氏	延べ 65名
令和6年 1月24日	実践編（対面）： 窓口対応のやさしい日本語 ほか		

オ 「自分の未来を描くユース会議」の開催

若者がグローバル化に対応し、将来、世界的な視野で活躍できる「グローバル人材」を目指すことを支援するための講座を、特定非営利活動法人愛・知みらいフォーラムと共催で開催した。

開催日	内 容	講 師	参加者数
令和5年 7月29日	今、地球社会が抱える問題を考えるー地球市民をめざしてー	同志社大学グローバル・スタディーズ研究科 教授 西川由紀子氏 ほか	高校生 22名

(2) 日本語学習の支援

ア 外国人児童生徒日本語教育推進事業の実施

① 日本語指導員の育成

・日本語ボランティア入門講座

日本語ボランティア未経験者及び初心者向けに、外国人や外国人児童生徒の現状や課題、日本語ボランティアとはどのような活動なのか、またその支援内容や教え方などを学ぶ講座を開催した。

共催団体	開催日	内 容		参加者数
碧南市	令和5年 11月5日 ～19日 (全3回)	1日目	講義「地域の外国人の現状」ほか	延べ 89名
		2日目	講義「地域の外国人児童生徒の現状」ほか	
		3日目	活動報告「地域の日本語教室のことを知ろう」、振り返り、マッチング	

・産官連携による地域日本語教室支援事業

愛知県経営者協会、(一社)中部経済連合会、名古屋商工会議所、愛知県と協働で、地域の日本語教室にボランティアとして参加したいと思っている企業社員を対象に、子ども向け日本語教室で活動するための研修及び日本語教室とのマッチングイベントを開催した。

開催日時	内 容	参加者数
令和5年 9月10日	<研修> 「愛知県に住む外国人児童生徒の現状及び子ども向け日本語教室の活動について」 講師：愛知淑徳大学 助教 鈴木崇夫氏	21名
令和6年 1月28日	<マッチング> 日本語教室活動紹介、個別相談会ほか	28名

・外国人児童生徒のための日本語教室活動等スキルアップ研修

現在子ども向け日本語ボランティアとして活動しているボランティア及び外国人児童生徒に携わっている学校関係者を対象に、日々の活動における疑問点や悩みを解決し、役立つ知識やスキルを身に付けるためのスキルアップ研修を開催した。

共催団体	開催日	内 容	参加者数
大口町・ NPO法人まちなねっと大口	令和5年 9月30日	日本語ゼロの子どもへの対応及び 教科指導の方法 講師：NPO法人トルシーダ 理事長 伊東浄江氏	22名
大府市	令和6年 1月14日	レベルが違う生徒と日本語がゼロ レベルで来た生徒への教え方 講師： 認定NPO法人プラス・エデュケート 理事長 森顕子氏	36名

② 外国人児童生徒及び保護者のための教育相談会の開催

外国につながりを持つ子どもとその保護者を対象に、日本で進学・就職する上で必要な教育制度や進路選択等についての情報を提供する進路説明会を開催した。

共催団体	開催日	内 容	参加者数
あま市・ あま市教育委員会	令和5年 8月5日	講義「日本の教育・進路について」 先輩の体験談発表	15名

イ 日本語ボランティア入門講座の開催

地域の大人向け日本語教室で活動するボランティアを新たに増やす取組として、日本語ボランティア初心者を対象に、心構えなどを学ぶ講座を開催した。

開催日	内 容	参加者数
令和5年8月24日～11月16日 (全9回)	「日本語ボランティアの役割」等	延べ234名

ウ 日本語ボランティアスキルアップ講座の開催

地域の大人向け日本語教室で活動するボランティアを対象に、日本語教授法の更なる技術向上を目的とした講座を、開催した。

事業名	開催日	内 容	参加者数
日本語ボランティア スキルアップ講座	令和6年 1月26日 ・2月2日	こんな教え方もあるよ ～知ると世界が広がる教授法のあれこれ～ 講師：公益財団法人名古屋YWCA 和田貴子氏	延べ 59名
初期日本語指導講座	令和6年 2月7日 ～28日 (全4回)	講師： 岐阜県日本語教育総括コーディネーター 安藤郁美氏 あいち地域日本語教育コーディネーター 村田竜樹氏	延べ 92名

4 国際化に関する調査研究・情報提供

(1) 国際交流協会活動推進会議の開催

国際交流の推進を図るため、県内市町国際交流協会と活動推進会議を開催し、情報交換等を行った。

開催日	会議等名称	内 容	出席者
令和5年4月21日	市町村・市町国際 交流協会連絡会議	「令和5年度の主要事業 について」等	県内各市町村・市町 国際交流協会職員
令和5年4月21日	第1回国際交流協会 活動推進会議	「各協会からの提出議 題について」等	県内各市町国際交流 協会職員
令和5年12月15日	第2回国際交流協会 活動推進会議	「令和5年度の各ブロッ ク会議の報告」等	県内各市町国際交流 協会職員

(2) 調査研究等の実施

「愛知県国際交流協会事業推進計画2023」の計画満了に伴い、新しい計画策定に向けての有識者会議を行い、当協会の目的である地域の国際交流活動及び国際協力活動の推進や、多文化共生の地域づくりの推進に取り組んでいくため、「愛知県国際交流協会事業推進計画2028」を策定した。

開催日	議題	有識者
令和5年 8月1日	次期計画骨子概要及び課題と方向性について	愛知県立大学外国語学部 教授 東 弘子氏 名古屋国際工科専門職大学工科学部 教授 佐藤 久美氏
令和5年 12月4日	愛知県国際交流協会事業推進計画の素案について	公益財団法人豊橋市国際交流協会 事務局次長 竹岡 美代子氏

(3) インターネット等を活用した情報の提供

ホームページ（通称i-net）を作成し、国際交流に関する各種情報を日本語、ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語、韓国語で、あいち多文化共生センターに関する情報を上記言語に加え、フィリピン語／タガログ語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語、タイ語、ミャンマー語で提供した。また、機関誌を作成し、協会の活動内容や国際交流関係情報等の広報を行った。

機関誌名	発行回数	発行時期	部数	配布先
あいち国際プラザ	6回	奇数月	各10,000部	協会賛助会員、民間国際交流団体、市町村・協会など

また、県内の民間国際交流団体の活動状況や、国際交流に関する基礎的情報を盛り込んだ「国際交流ハンドブック」を1,000部作成し、配布した。

(4) 多言語による生活情報の提供

外国人の生活利便の向上を図るため、在留手続き、労働、医療・年金・福祉、教育、税金等、日本で生活する上で必要な情報を集めた冊子「愛知生活便利帳」（ポルトガル語・スペイン語・日本語併記）を1,000部作成し、市町村相談窓口等の関係団体に配布した。

(5) 図書コーナーでの情報・資料の提供

国際交流に関する様々な図書・資料を収集し、図書コーナーにおいて貸出又は閲覧に供した。

特に、多文化共生に関する図書、防災への理解を深める図書を充実させた。

区 分	図書コーナー	新聞・雑誌、ビデオコーナー	貸出冊数
利用者数等	4,924名	2,442名	887冊

決算報告

貸借対照表

令和6年3月31日現在

公益財団法人 愛知県国際交流協会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	16,206,596	15,759,835	446,761
未収金	83,916	201,363	△117,447
前払金	18,250	21,750	△3,500
流動資産合計	16,308,762	15,982,948	325,814
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券等	314,595,000	314,595,000	0
基本財産合計	314,595,000	314,595,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	37,339,960	33,577,469	3,762,491
国際貢献支援事業特定資産	1,533,379	1,533,585	△206
日本語学習支援基金事業特定資産	52,852,415	60,417,056	△7,564,641
特定資産合計	91,725,754	95,528,110	△3,802,356
(3) その他の固定資産			
什器備品	1,813,602	2,072,706	△259,104
ソフトウェア	115,808	159,236	△43,428
電話加入権	957,360	957,360	0
その他の固定資産合計	2,886,770	3,189,302	△302,532
固定資産合計	409,207,524	413,312,412	△4,104,888
資 産 合 計	425,516,286	429,295,360	△3,779,074
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	15,636,489	15,061,394	575,095
預り金	590,273	789,969	△199,696
前受金	12,000	9,000	3,000
流動負債合計	16,238,762	15,860,363	378,399
2 固定負債			
退職給付引当金	37,339,960	33,577,469	3,762,491
固定負債合計	37,339,960	33,577,469	3,762,491
負 債 合 計	53,578,722	49,437,832	4,140,890
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	368,980,794	376,545,641	△7,564,847
指定正味財産合計	368,980,794	376,545,641	△7,564,847
(うち基本財産への充当額)	(314,595,000)	(314,595,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(54,385,794)	(61,950,641)	(△7,564,847)
2 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	371,937,564	379,857,528	△7,919,964
負債及び正味財産合計	425,516,286	429,295,360	△3,779,074

貸借対照表内訳表

令和6年3月31日現在

公益財団法人 愛知県国際交流協会

(単位：円)

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	内部取引 消去	合 計
I 資産の部				
1 流動資産				
現金預金	13,721,304	2,485,292		16,206,596
未収金	83,916	0		83,916
前払金	18,250	0		18,250
流動資産合計	13,823,470	2,485,292		16,308,762
2 固定資産				
(1) 基本財産				
投資有価証券等	314,595,000	0		314,595,000
基本財産合計	314,595,000	0		314,595,000
(2) 特定資産				
退職給付引当資産	0	37,339,960		37,339,960
国際貢献支援事業特定資産	1,533,379	0		1,533,379
日本語学習支援基金事業特定資産	52,852,415	0		52,852,415
特定資産合計	54,385,794	37,339,960		91,725,754
(3) その他の固定資産				
什器備品	1,813,602	0		1,813,602
ソフトウェア	115,808	0		115,808
電話加入権	957,360	0		957,360
その他の固定資産合計	2,886,770	0		2,886,770
固定資産合計	371,867,564	37,339,960		409,207,524
資 産 合 計	385,691,034	39,825,252		425,516,286
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金	13,728,064	1,908,425		15,636,489
預り金	25,406	564,867		590,273
前受金		12,000		12,000
流動負債合計	13,753,470	2,485,292		16,238,762
2 固定負債				
退職給付引当金	0	37,339,960		37,339,960
固定負債合計	0	37,339,960		37,339,960
負 債 合 計	13,753,470	39,825,252		53,578,722
III 正味財産の部				
1 指定正味財産				
寄付金	368,980,794	0		368,980,794
指定正味財産合計	368,980,794	0		368,980,794
(うち基本財産への充当額)	(314,595,000)	(0)		(314,595,000)
(うち特定資産への充当額)	(54,385,794)	(0)		(54,385,794)
2 一般正味財産	2,956,770	(0)		2,956,770
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)		(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)		(0)
正味財産合計	371,937,564	0		371,937,564
負債及び正味財産合計	385,691,034	39,825,252		425,516,286

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

公益財団法人 愛知県国際交流協会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,097,315	2,253,745	△ 156,430
基本財産受取利息	2,097,315	2,253,745	△ 156,430
特定資産運用益	14	18	△ 4
特定資産受取利息	14	18	△ 4
受取会費	2,845,000	2,858,000	△ 13,000
受取会費	2,845,000	2,858,000	△ 13,000
事業収益	104,480	237,571	△ 133,091
広告料収入	30,000	30,000	0
生活便利帳収入	74,480	207,571	△ 133,091
受取補助金等	162,224,658	162,224,857	△ 199
県補助金	162,224,658	162,224,857	△ 199
受取寄付金	12,484,847	13,696,419	△ 1,211,572
受取寄付金等振替額	12,484,847	13,696,419	△ 1,211,572
雑収益	1,008,660	851,713	156,947
受取利息	647	590	57
雑収益	1,008,013	851,123	156,890
経常収益計	180,764,974	182,122,323	△ 1,357,349
(2) 経常費用			
事業費	144,357,263	141,974,399	2,382,864
報酬	36,617,138	35,110,509	1,506,629
給料手当	56,295,361	53,823,847	2,471,514
福利厚生費	15,358,561	14,670,653	687,908
旅費交通費	3,769,915	3,510,521	259,394
役務費	6,735,242	7,562,428	△ 827,186
減価償却費	764,532	946,159	△ 181,627
消耗什器備品費	95,675	666,088	△ 570,413
需用費	5,450,030	4,886,540	563,490
使用料及び賃借料	3,091,850	2,845,944	245,906
諸謝金	2,112,121	2,777,082	△ 664,961
租税公課	5,000	3,650	1,350
支払負担金	1,751,400	2,143,640	△ 392,240
支払助成金	10,186,638	10,414,588	△ 227,950
委託費	2,123,800	2,612,750	△ 488,950
雑費	0	0	0

科 目	当年度	前年度	増減
管理費	36,762,828	40,334,263	△ 3,571,435
報酬	0	0	0
役員報酬	435,000	255,000	180,000
給料手当	18,995,707	20,878,388	△ 1,882,681
退職給付費用	5,339,585	4,239,052	1,100,533
福利厚生費	3,666,445	3,948,676	△ 282,231
旅費交通費	53,060	47,220	5,840
役務費	71,500	0	71,500
需用費	0	17,820	△ 17,820
光熱水料費	8,116,929	10,672,825	△ 2,555,896
保険料	40,390	40,390	0
雑費	44,212	234,892	△ 190,680
経常費用計	181,120,091	182,308,662	△ 1,188,571
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 355,117	△ 186,339	△ 168,778
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 355,117	△ 186,339	△ 168,778
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	33,001	△ 33,001
経常外費用計	0	33,001	△ 33,001
当期経常外増減額	0	△ 33,001	33,001
当期一般正味財産増減額	△ 355,117	△ 219,340	△ 135,777
一般正味財産期首残高	3,311,887	3,531,227	△ 219,340
一般正味財産期末残高	2,956,770	3,311,887	△ 355,117
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	4,920,000	66,803,000	△ 61,883,000
基本財産受取利息	2,097,315	2,253,745	△ 156,430
特定資産受取利息	14	18	△ 4
一般正味財産への振替額	△ 14,582,176	△ 15,950,182	1,368,006
当期指定正味財産増減額	△ 7,564,847	53,106,581	△ 60,671,428
指定正味財産期首残高	376,545,641	323,439,060	53,106,581
指定正味財産期末残高	368,980,794	376,545,641	△ 7,564,847
III 正味財産期末残高	371,937,564	379,857,528	△ 7,919,964

正味財産増減計算書内訳書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

公益財団法人 愛知県国際交流協会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	内部取引 消去	合計
	国際交流	多文化共生	人材育成	情報提供	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	0	2,097,315	2,097,315	0		2,097,315
基本財産受取利息	0	0	0	0	2,097,315	2,097,315	0		2,097,315
特定資産運用益	14	0	0	0	0	14	0		14
特定資産受取利息	14	0	0	0	0	14	0		14
受取会費	0	0	0	0	1,422,500	1,422,500	1,422,500		2,845,000
受取会費	0	0	0	0	1,422,500	1,422,500	1,422,500		2,845,000
事業収益	0	0	0	104,480	0	104,480	0		104,480
広告料収入	0	0	0	30,000	0	30,000	0		30,000
生活便利帳収入	0	0	0	74,480	0	74,480	0		74,480
受取補助金等	27,538,594	53,588,683	16,973,575	23,677,757	5,740,235	127,518,844	34,705,814		162,224,658
県補助金	27,538,594	53,588,683	16,973,575	23,677,757	5,740,235	127,518,844	34,705,814		162,224,658
受取寄付金	206	12,484,641	0	0	0	12,484,847	0		12,484,847
受取寄付金等振替額	206	12,484,641	0	0	0	12,484,847	0		12,484,847
雑収益	75,630	141,516	157,000	0	0	374,146	634,514		1,008,660
受取利息	0	0	0	0	0	0	647		647
雑収益	75,630	141,516	157,000	0	0	374,146	633,867		1,008,013
経常収益計	27,614,444	66,214,840	17,130,575	23,782,237	9,260,050	144,002,146	36,762,828		180,764,974
(2) 経常費用									
事業費	27,614,444	66,267,425	17,130,575	27,280,300	6,064,519	144,357,263	0		144,357,263
報酬	2,154,440	25,598,044	2,882,724	4,800,538	1,181,392	36,617,138	0		36,617,138
給料手当	17,206,511	16,745,948	10,088,390	12,254,512	0	56,295,361	0		56,295,361
福利厚生費	3,248,173	6,061,269	2,085,916	3,963,203	0	15,358,561	0		15,358,561
旅費交通費	302,930	2,227,872	364,590	623,641	250,882	3,769,915	0		3,769,915
役務費	157,720	4,368,276	81,848	1,017,242	1,110,156	6,735,242	0		6,735,242
減価償却費	0	0	0	0	764,532	764,532	0		764,532
消耗什器備品費	0	0	0	95,675	0	95,675	0		95,675
需用費	310,180	1,257,470	444,007	2,260,081	1,178,292	5,450,030	0		5,450,030
使用料及び賃借料	200,000	60,492	0	2,217,408	613,950	3,091,850	0		3,091,850
諸謝金	266,490	497,216	1,183,100	48,000	117,315	2,112,121	0		2,112,121
租税公課	0	2,200	0	0	2,800	5,000	0		5,000
支払負担金	1,500,000	22,200	0	0	229,200	1,751,400	0		1,751,400
支払助成金	1,462,000	8,724,638	0	0	0	10,186,638	0		10,186,638
委託費	806,000	701,800	0	0	616,000	2,123,800	0		2,123,800

科 目	公益目的事業会計						法人会計	内部取引消去	合計
	国際交流	多文化共生	人材育成	情報提供	共通	小計			
管理費							36,762,828		36,762,828
報酬							0		0
役員報酬							435,000		435,000
給料手当							18,995,707		18,995,707
退職給付費用							5,339,585		5,339,585
福利厚生費							3,666,445		3,666,445
旅費交通費							53,060		53,060
役務費							71,500		71,500
需用費							0		0
光熱水料費							8,116,929		8,116,929
保険料							40,390		40,390
雑費							44,212		44,212
経常費用計	27,614,444	66,267,425	17,130,575	27,280,300	6,064,519	144,357,263	36,762,828		181,120,091
評価損益等調整前当期経常増減額	0	△ 52,585	0	△ 3,498,063	3,195,531	△ 355,117	0		△ 355,117
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0		0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0		0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0		0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0		0
当期経常増減額	0	△ 52,585	0	△ 3,498,063	3,195,531	△ 355,117	0		△ 355,117
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0		0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用									
固定資産除却損	0	0	0	0	0	0	0		0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0		0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	0	△ 52,585	0	△ 3,498,063	3,195,531	△ 355,117	0		△ 355,117
一般正味財産期首残高	-	-	-	-	-	3,311,887	-		3,311,887
一般正味財産期末残高	-	-	-	-	-	2,956,770	-		2,956,770
II 指定正味財産増減の部									
受取寄付金	0	4,920,000	0	0	0	4,920,000	0		4,920,000
基本財産受取利息	0	0	0	0	2,097,315	2,097,315	0		2,097,315
特定資産受取利息	14	0	0	0	0	14	0		14
一般正味財産への振替額	△ 220	△ 12,484,641	0	0	△ 2,097,315	△ 14,582,176	0		△ 14,582,176
当期指定正味財産増減額	△ 206	△ 7,564,641	0	0	0	△ 7,564,847	0		△ 7,564,847
指定正味財産期首残高	-	-	-	-	-	376,545,641	-		376,545,641
指定正味財産期末残高	-	-	-	-	-	368,980,794	-		368,980,794
III 正味財産期末残高	-	-	-	-	-	371,937,564	-		371,937,564

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

満期保有目的の債券……償却原価法（定額法）によっている。

なお、取得価格と債券金額との差額について重要性が乏しい満期保有目的の債券については、適用していない。

(2) 固定資産の減価償却方法について

定額法による減価償却を実施している。

(3) 引当金の計上基準について

退職給付引当金には、期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(4) 消費税等の会計基準について

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券等	314,595,000	2,097,315	2,097,315	314,595,000
小 計	314,595,000	2,097,315	2,097,315	314,595,000
特定資産				
退職給付引当資産	33,577,469	5,339,585	1,577,094	37,339,960
国際貢献支援事業特定資産	1,533,585	14	220	1,533,379
日本語学習支援基金事業特定資産	60,417,056	4,920,000	12,484,641	52,852,415
小 計	95,528,110	10,259,599	14,061,955	91,725,754
合 計	410,123,110	12,356,914	16,159,270	406,320,754

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当 額)	(うち一般正 味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券等	314,595,000	314,595,000	0	-
小 計	314,595,000	314,595,000	0	-
特定資産				
退職給付引当資産	37,339,960	-	-	37,339,960
国際貢献支援事業特定資産	1,533,379	1,533,379	0	-
日本語学習支援基金事業特定資産	52,852,415	52,852,415	0	-
小 計	91,725,754	54,385,794	0	37,339,960
合 計	406,320,754	368,980,794	0	37,339,960

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	21,918,589	20,104,987	1,813,602
ソフトウェア	217,140	101,332	115,808
合 計	22,135,729	20,206,319	1,929,410

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時価	評価損益
政府保証債	99,568,000	95,750,000	△3,818,000
大阪市債	100,000,000	76,940,000	△23,060,000
利付国債	9,990,800	8,758,000	△1,232,800
堺市債	100,000,000	76,650,400	△23,349,600
利付国債	4,453,740	4,394,250	△59,490
合 計	314,012,540	262,492,650	△51,519,890

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
令和5年度愛知県国際交流協会運営費補助金	愛知県	0	162,224,658	162,224,658	0	-
合 計		0	162,224,658	162,224,658	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息の振替額	2,097,315
特定資産受取利息の振替額	14
国際貢献支援事業の実施による振替額	206
日本語学習支援基金事業の実施による振替額	12,484,641
合 計	14,582,176

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記で記載しているため省略。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	33,577,469	5,339,585	1,577,094	0	37,339,960

財 産 目 録

令和6年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金	0
預金	普通預金 三菱UFJ銀行愛知県庁出張所	運転資金	16,206,596
未収金	県内市町国際交流協会	雇用保険料等	83,916
前払金	愛知県社会福祉協議会	ボランティア活動保険	18,250
流動資産合計			16,308,762
(固定資産)			
基本財産			
投資有価証券	政府保証債（大和証券） 大阪市債（大和証券） 利付国債（大和証券） 利付国債（大和証券） 堺市債（野村証券）	公益目的保有財産であり、 運用益を公益目的事業の財 源として使用。	99,568,000 100,000,000 9,990,800 4,453,740 100,000,000
預金	定期預金 三菱UFJ銀行愛知県庁出張所		582,460
特定資産			
退職給付引当資産	定期預金 三菱UFJ銀行愛知県庁出張所	職員の退職金の支払いに備 えた積立資産。	37,339,960
国際貢献支援事業 特定資産	普通預金 三井住友信託銀行名古屋営業部	公益目的保有財産であり、 国際貢献支援事業に使用。	1,533,379
日本語学習支援基金事業 特定資産	普通預金 三菱UFJ銀行愛知県庁出張所	公益目的保有財産であり、 日本語学習支援基金事業に 使用。	52,852,415
その他の固定資産			
什器備品	スチールパーティション他	公益目的保有財産であり、 公益目的事業に使用。	1,813,602
ソフトウェア	Microsoft Office	公益目的保有財産であり、 公益目的事業に使用。	115,808
電話加入権	電話加入権	公益目的保有財産であり、 公益目的事業に使用。	957,360
固定資産合計			409,207,524
資産合計			425,516,286
(流動負債)			
未払金	事業実施等に対する未払額		15,636,489
預り金	住民税ほか	住民税等の預り金	590,273
前受金	賛助会費、日本語学習支援基金寄付	賛助会費の前受金等	12,000
流動負債合計			16,238,762
(固定負債)			
退職給付引当金	職員に対するもの	職員の退職金の支払いに備 えたもの。	37,339,960
固定負債合計			37,339,960
負債合計			53,578,722
正味財産			371,937,564

監 査 報 告 書

令和 6 年 5 月 2 8 日

公益財団法人愛知県国際交流協会

会長 神 田 真 秋 殿

公益財団法人愛知県国際交流協会

監事 中川 喜仁 印

監事 野村 一彦 印

私たち監事は、令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 3 1 日までの令和 5 年度における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び職員と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類及び会計帳簿又はこれに関する資料等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討するとともに、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

①事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上